

1 事業が目指すところ

高齢の為耕作できなくなった田畑で、消費地域の障がい者・障がい者家族支援者・一般市民が共に連携し、夏野菜・黒枝豆の苗付け及び収穫を一緒に行う。

茅葺古民家の継続修繕を行い、生産地域の「つどいの場」、消費地域の癒しの場」とし双方の交流を深めることを目指す。



10/15 黒枝豆収穫時の集合写真

2 活動内容

- ・夏野菜の種まきから収穫（4/18～7/4 7回）
- ・黒枝豆の種まき・苗付け・盛り土・草むしり（6/6～9/19 6回）
- ・黒枝豆の収穫（10/15、17、19、22、24、31 6回）
- ・茅葺古民家に落語家 露の団六氏を招き「ふれあい広場」を実施 12/12
概ね 60 名参加
- ・就労支援「ぽこあぽこ」野菜提供
毎週月曜日（4/5～3/18 最終予定）
- ・木の芽家族会野菜提供
毎月第二日曜日（4/11～3/12 最終予定）



10/24 黒枝豆収穫体験の様子



10/31 黒枝豆収穫時の様子・集合写真



ぽこあぽこ・家族会の野菜提供の様子



12/12 ふれあい広場の様子

3 成果や課題点

それぞれに居場所をつくり、役割と出番を作ることができたのが、とても良かった。

大自然の中の非日常を経験することで、社会参加への興味、農村部への興味が広がったことが良かったが、農作物の成長ごとに足を運んでほしかったが意図するほどの動きにはならなかった。広報の仕方に工夫が必要であることが課題となった。



12/12 30年ぶりに対面した地域住民

4 今後の展望、成果の活用

- ・種蒔きから収穫までの体験を有料化
- ・茅葺古民家利用を「つどいの場」「癒しの場」としてリピーターを増やす
- ・ブルーベリー事業化



薪でご飯の炊き方を教えてもらっている様子